市庁舎「新築・統合」の白紙を求める署名

いま、市民の雇用とくらしは大変です。来年度、国保料が 2 年連続で約 10%、水道料金は約８%の引き上げとなり、市民の負担はいっそう重くなります。その一方で、鳥取市は市庁舎の「新築・統合」計画をすすめています。2 月 5 日には基本方針（素案）が出され、3 月末には基本方針を決定し、市庁舎の規模や建設場所を明らかにする考えです。

しかし、これまでの住民や市民団体主催の集会や市の説明会では「4000 人の市民アンケートは、新築を前提にしたもので一方的だ」「約 100 億円もかかる大事業を、わずか数カ月で結論を出すのはおかしい」「県庁が耐震改修なのに、市はなぜできないのか」「財政は厳しい。合併特例債は借金であり、将来の返済は大丈夫か」などといった数多くの疑問や意見、批判があがっています。

また、市民アンケートの回答の中には市役所周辺の商店街の振興など、まちづくりの点からも疑問や不安の声が強く出されています。

市庁舎整備は市民にとって大きな問題です。いまの市のやり方は「市民が主役の市政」「市民と協働をすすめる市政」ではありません。私たちは、十分に市民と議論し、市民の合意形成をはかることが重要と考えます。

よって、以下の点を強く要請いたします。

記

鳥取市長　　竹内　功　様

要請項目

1. 市庁舎の「新築･統合」を白紙に戻すこと。

氏　　名	住　　所

※個人情報については、署名活動の目的のみにしか使用しません。

（取り扱い団体：　　）